

県内経済の動き

概況

〔2019年11月～2020年1月の動き〕

前年同月比、減少・低下の指標が目立つ

鉱工業生産指数（11月）は2カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（12月 細島港）は3カ月ぶりに前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（12月 全店ベース）は3カ月連続、「軽」を含む乗用車の販売台数（1月）、は4カ月連続で前年同月比減少となった。新設住宅着工戸数（12月）は2カ月ぶりに前年同月比減少した。公共工事（1月 保証対象請負総額）は4カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（12月:1.37倍）は前月比0.04ポイント低下した。1月の企業倒産は4件、1億47百万円となり、企業倒産が無かった前月から大幅に増加した。

本県経済は緩やかな回復が続いているとみられるが、足元では悪化に転じた指標が目立ち、一部は前年同月比マイナスが長引いている。